

第 22 回岡山もも・脳ネット運用会議 議事録

開催日時：平成 22 年 10 月 28 日（木）19：00～20：00

開催場所：岡山医療センター 4 階 大研修室

出席者：
赤磐医師会病院（小幡 Ns、藤野 Ns、道越 MSW）
あかいわファミリークリニック（濃野 Ns、山本 Ns）
うちおグリーンクリニック（船越 PT、松尾 PT）
大杉病院（熊本 Ns、高原 PT、西山 MSW）
岡山医療センター（大森 Dr、塩田 Dr、奥田 Ns、川崎 Ns、島谷 Ns、鳥越 Ns、竹原 Ns、細川 Ns、間野 Ns、山本 Ns、横張 Ns、渡利 PT、神崎 MSW、木戸 MSW、森重 MSW、宮園 MSW、松尾歯科衛生士）
岡山協立病院（丸山 Ns）
岡山旭東病院（中嶋 Dr、原田 Ns、片岡 PT、片岡 MSW、細谷事務）
岡山光南病院（西崎 Dr、松井 Ns、齋藤 MSW）
岡山済生会総合病院（茅原 Ns、藤田 Ns、遠藤 PT、児子 MSW、岡田事務）
岡山西大寺病院（横山 Ns、山本 PT、永井 MSW）
岡山市民病院（桐山 Dr、植田 Ns、大河 PT、菊井 PT、）
岡山赤十字病院（井上 Dr、片岡 Dr、徳永 Ns、三宅 Ns、山田 Ns、工藤 ST、内藤 MSW、石原 MSW、田村 MSW、原田事務）
岡山赤十字病院玉野分院（四方 MSW）
岡山大学病院（石橋 MSW、谷田、難波）
岡山中央病院（藤本 Ns、南 PT、小川 MSW、大田原事務）
岡山中央奉還町病院（小島 Dr、宮島 OT）
岡山東部脳神経外科岡山クリニック（鎌田 Dr、高田 PT、安井事務）
岡山東部脳神経外科東備クリニック（藤原 PT、中村 OT）
岡山東中央病院（辻本 OT、渡辺 OT、中岡 MSW）
岡山リハビリテーション病院（井上 Ns、坂本 Ns、吉村 Ns、荒尾 PT、松村 MSW）
岡山労災病院（片山 Dr、高畠 Ns、井上 ST、松下 MSW）
おまち整形外科医院（井上 PT）
梶木病院（河原 Ns、佐藤 PT、岡本 MSW）
川崎医科大学附属川崎病院（小山 PT、鈴木 MSW、升間 MSW、今田事務、額田事務）
吉備高原医療リハビリテーションセンター（原之園 Ns）
倉敷中央病院（十河）
児島中央病院（古谷 Dr、犬東事務、小西事務）
小林内科診療所（物部 OT、真治 MSW）
近藤病院（初岡 MSW）
済生会吉備病院（奥田 PT、阿部 MSW、岩藤 MSW）
佐藤病院（金光 PT、宇民 MSW）
さとう記念病院（大田 MSW、国政 MSW）

しげい病院（高山 Ns、河原事務）
 重井医学研究所附属病院（中井 MSW、馬越事務）
 高梁中央病院（新山 Ns、川上 OT、高橋 MSW）
 たまメディカルリハビリテーションクリニック（野口事務）
 玉野市民病院（遠藤 Ns、田中 PT、佐藤 MSW）
 備前市立吉永病院（荻野 Dr）
 藤田病院（村上 PT）
 宮本整形外科病院（矢本 Ns、川山 PT、小林事務）
 操整形竜外科病院（大本 Ns、川口 PT）

<在宅ワーキンググループ>

岡山市歯科医師会（相坂 Dr、山本 Dr）
 岡山県歯科衛生士会（小橋歯科衛生士）
 介護支援専門員協会（丸田 CM）
 ケアプランサービスあさひ（猪井 CM、西山 CM）
 小坂内科医院（小坂 Dr）
 備前保健所（二宮 Dr）
 御津医師会（大橋 Dr）
 老人保健施設エスペランスわけ（堀部 CM）

計 49 施設 137 名（敬省略・五十音順）

医療関係：41 施設 127 名

在宅グループ：8 施設 10 名

① 運用状況報告（平成 22 年 6 月～9 月末まで）

- ・大腿骨頸部骨折パス（岡山日赤：片岡 Dr）

自宅において独歩・杖・歩行器での歩行が自立していた患者を対象にデータをまとめた。

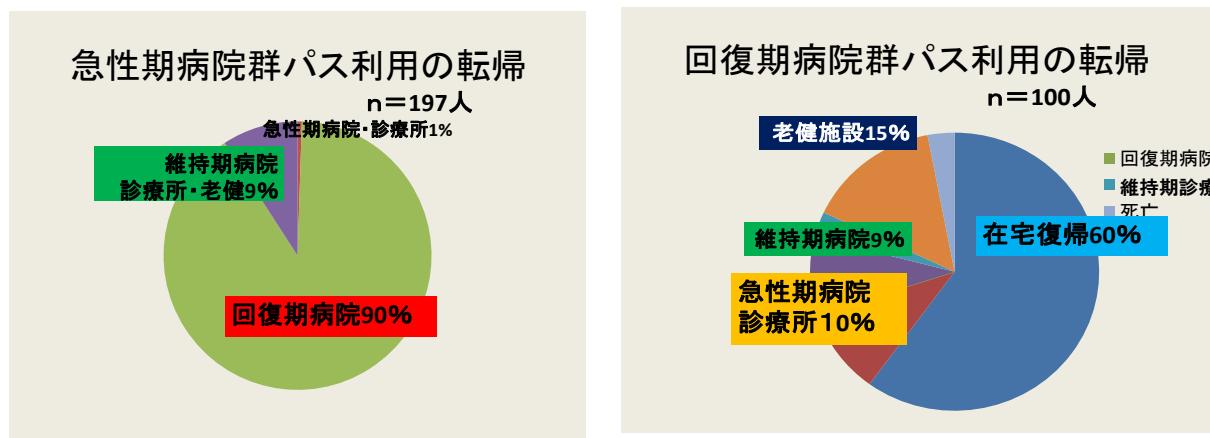
<急性期病院>

	連携	連携外	バス外
日赤	13	3	3
国立	16	9	4
労災	13	4	20
済生会	20	0	52
旭東	10	6	0
岡山中央	6	0	1

<回復期病院>

	転院（急性期）	転院（療養）	施設	自宅
岡山協立	0	0	1	2
岡山光南	0	0	0	1
済生会吉備	1	4	2	10
岡山リハ	0	0	0	4
竜操整形	0	0	2	3
吉備リハ	0	0	0	4
佐藤	0	0	2	6
中央奉還町	1	1	2	12
玉野市民	1	0	0	3
たまメデイカル	0	0	1	2
高梁中央	0	0	1	0

- ・急性期病院の data は、ほとんど変化なし。
- ・回復期病院は、済生会吉備病・竜操整形・佐藤・奉還町病院の入院期間が短縮している。ADL は、FIM で 2 点以上の回復を示している病院もあり、患者の増加や ADL の改善が入院期間の短縮に繋がっていると考えられる。
- ・バス適用外の患者については FIM の点数が悪い。合併症の問題などが考えられる。
- ・脳卒中バス（岡山日赤：井上 Dr）



- ・急性期から回復期へ転院する 98%がバスを利用している。
- ・維持期、老健への転院割合が増え、維持期でのバス利用者も増加している。
- ・在院日数は、若干短縮している。

※ 統計については、もも脳ネットのホームページに掲載する。

②県南東部脳卒中医療連携の総合的な体制整備促進事業について (岡山日赤：井上 Dr)

平成 23 年 1 月 8 日 (土) 午後 2 時～4 時 山陽新聞社さん太ホールにて市民フォーラムを開催する予定。詳細については、配付した資料を参照。

11 月下旬にポスターが完成予定のため、各病院に掲示していただきたい。

フォーラムでは、もも脳ネットの取組についてアナウンスするとともに、リハビリテーションや介護サービスについてのレクチャーを行う。

③在宅パスの今後の展開 (堀部ケアマネージャー)

備前県民局が中心になり、在宅パスのシートを作成した。シートについては配付資料を参照。

岡山県介護支援専門員協会のホームページからもダウンロード可能。

基本的には、全ての疾患に対して在宅と病院がスムーズに連携をしていくためのツールとして利用する。現在、運用マニュアルを作成中であり、出来上がり次第、備前県民局のホームページに掲載する。それを基に 12 月上旬に在宅パスの研修を開く予定。

現在は病院間で連携している CD と別運用になっているが、将来的には CD に組み込む方向を検討している。

④地域連携パスの展望 (備前県民局：二宮先生)

脳卒中や頸部骨折を含めた全ての疾患に対して自宅退院を目標に急性期から回復期へと連携を深めてきた。その最終段階である在宅との医療連携を推し進めていきたい。

また、維持期の病院からパスが回ってこないとの意見もあるため、維持期へもパスを広めていただきたいと思う。

⑤オーバービューパスの改訂とマニュアルの見直し (岡山日赤：片岡 Dr)

頸部骨折のマニュアルについては、ワーキンググループで話し合った内容を基に改定案を作成した。近日中にホームページに掲載するため、目を通していただき問題があるようなら日赤へメールしてほしい。それを基にして 11 月中にワーキング会議を開きマニュアルを完成させる。

脳卒中にも関係するような全体的な運用についてもワーキンググループで話し合う。

整形外科のオーバービューパスについては、急性期～維持期までのサインと日常生活機能動作の点数が記入できる項目を組み込んだ様式を作成中。出来上がり次第、ホームページに掲載する。

⑥その他

・歯科との連携について (岡山歯科医師会)

急性期病院において歯科との関わりに温度差がある。今後の連携方法について模索中であり、急性期病院での現状を把握するためアンケートを郵送させていただいた。是非、回答をお願いしたい。

・返書について (計画管理病院)

回復期病院からの返信率が悪い。統計を取らないといけないため、退院患者については必ず返信を

お願いしたい。

・維持期におけるパスの周知 (備前県民局：二宮先生)

地区単位で周知していく必要があるが、岡山市は広範囲に及ぶため、周知が難しい。

保健所としても検討課題であり、どのように周知していくか模索中である。

回復期の病院が中心となり勉強会を開いていただくのも 1 つの方法かと思う。保健所もバックアップする。

・開業医の現状 (御津医師会：大橋先生)

開業医は介護保険を嫌煙する医師が多い。また、ケアマネージャーとうまく連携がいかないケースもある。御津医師会では、ケアマネージャーと開業医が合同で勉強会を開催しているが、医師の参加が少ない。パスについては、まず県に登録している開業医から周知する必要がある。

⑦次回開催日程

平成 23 年 2 月 24 日 (木) 19 時～ 岡山日赤病院 センター棟 4 階 研修室

(書記：木戸)